

第1回アンケート調査の概要・集計結果

令和6年10月22日から令和6年11月6日までの期間で、堀切菖蒲園駅周辺地区に土地や建物などの権利をお持ちの方を対象に、堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けた第1回アンケート調査を実施しました。第1回アンケート調査の概要と集計結果は以下のとおりです。

<第1回アンケート調査の概要>

調査名：堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けたアンケート調査
調査対象：堀切菖蒲園駅周辺地区に土地や建物などの権利をお持ちの方
調査時期：令和6年10月22日～令和6年11月6日
調査方法：郵送、WEB
回収数：124件（郵送98件、WEB26件）
回収率：29.8%

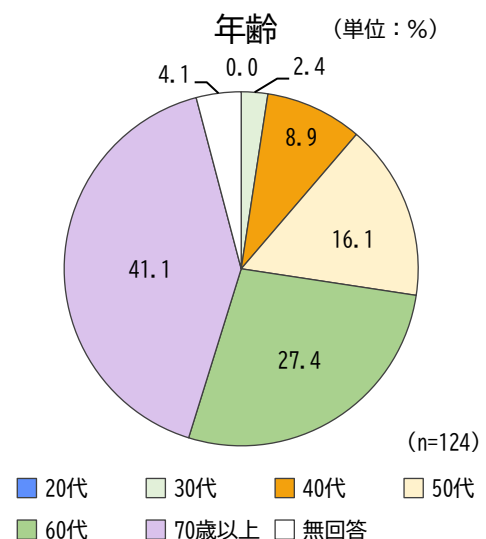
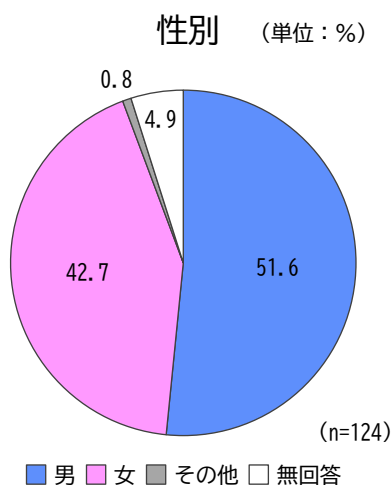
<集計結果>

性別

性別については、「男」が51.6%、「女」が42.7%、「その他」が0.8%となっています。

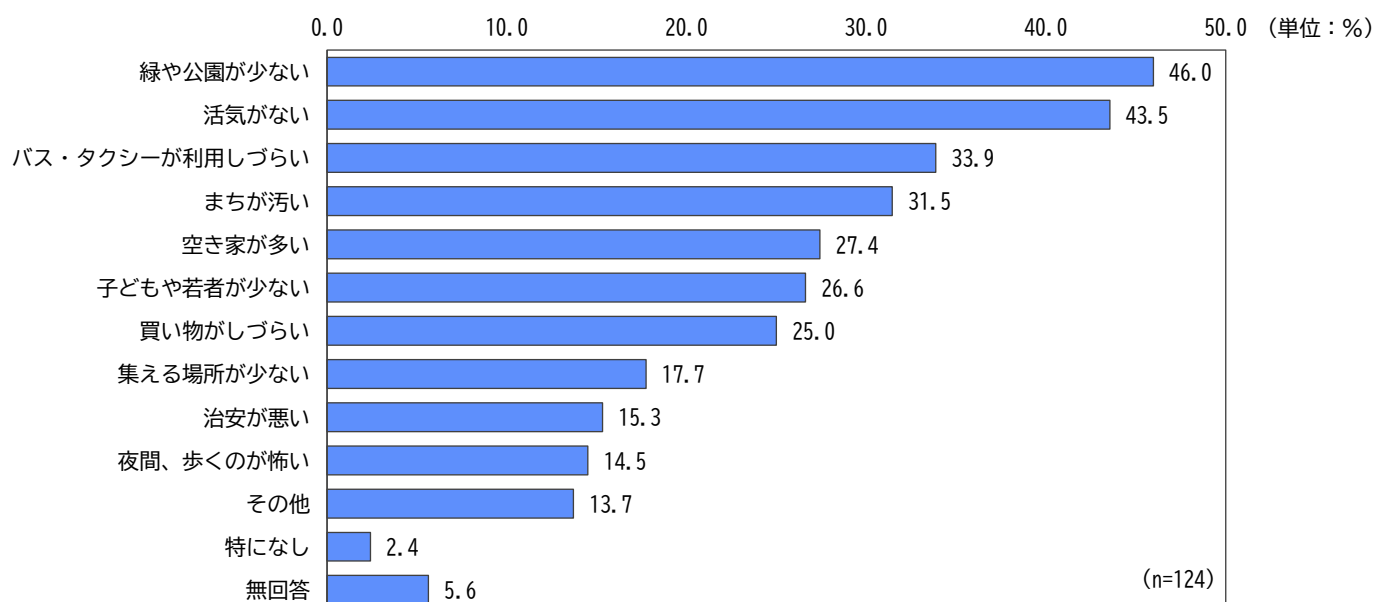
年齢

年齢については、「30代」が2.4%、「40代」が8.9%、「50代」が16.1%、「60代」が27.4%、「70歳以上」が41.1%となっています。



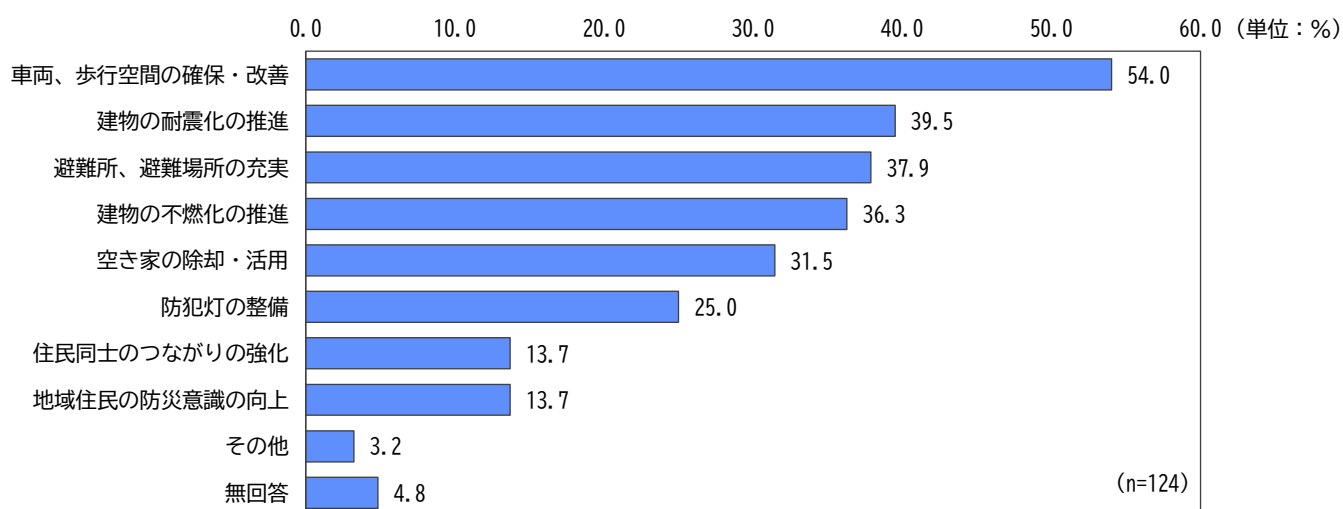
問1 今後、まちづくりを進めていくうえでの課題（狭あい道路、建物の老朽化、木造住宅が密集していることを除く）

今後のまちづくりを進めていくうえでの課題については、「緑や公園が少ない」が46.0%と最も多く、次いで「活気がない」が43.5%、「バス・タクシーが利用しづらい」が33.9%となっています。



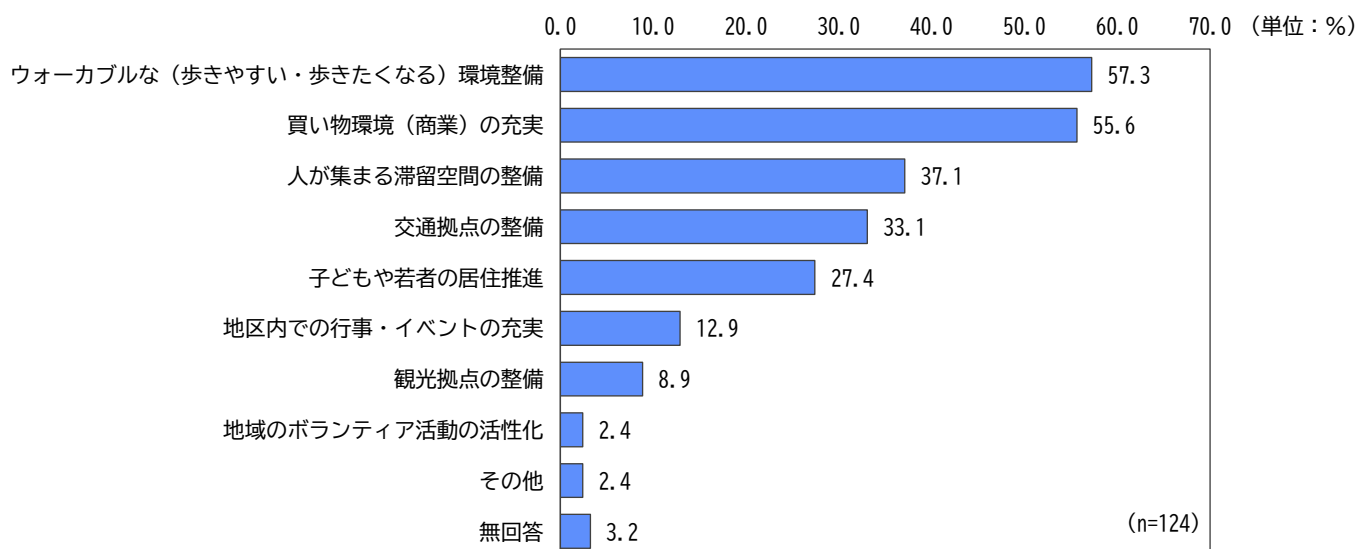
問2-① 安全・安心のまちづくりの視点で優先すべき取組

安全・安心のまちづくりの視点で優先すべき取組については、「車両、歩行空間の確保・改善」が54.0%と最も多く、次いで「建物の耐震化の推進」が39.5%、「避難所、避難場所の充実」が37.9%となっています。



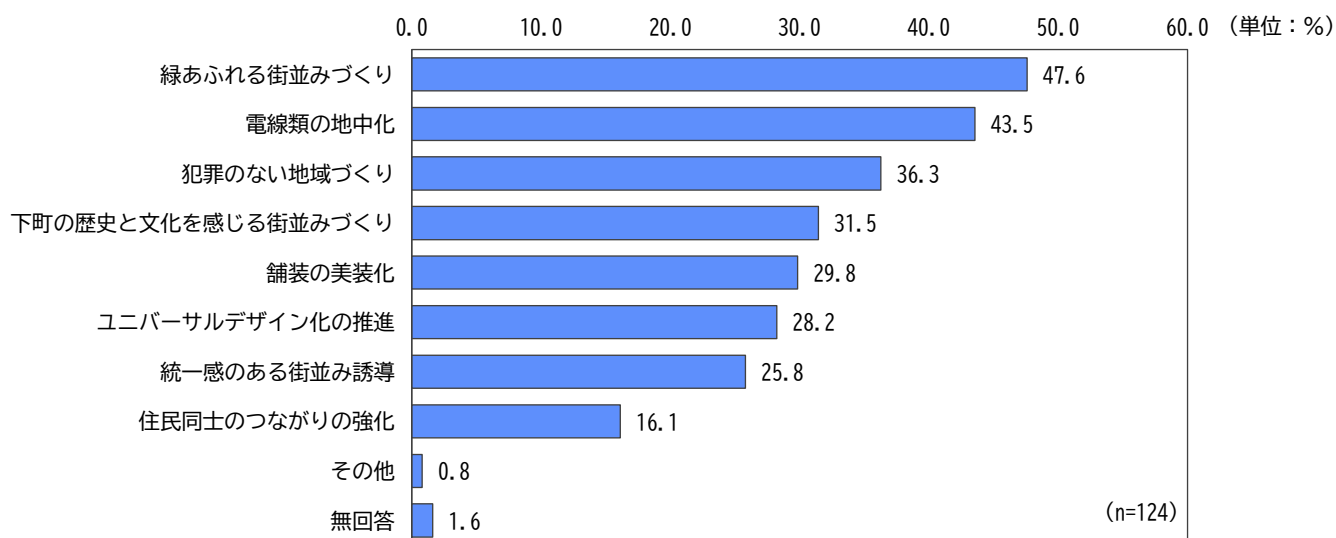
問2-② 賑わいのあるまちづくりの視点で優先すべき取組

賑わいのあるまちづくりの視点で優先すべき取組については、「ウォーカブルな（歩きやすい・歩きたくなる）環境整備」が57.3%と最も多く、次いで「買い物環境（商業）の充実」が55.6%、「人が集まる滞留空間の整備」が37.1%となっています。



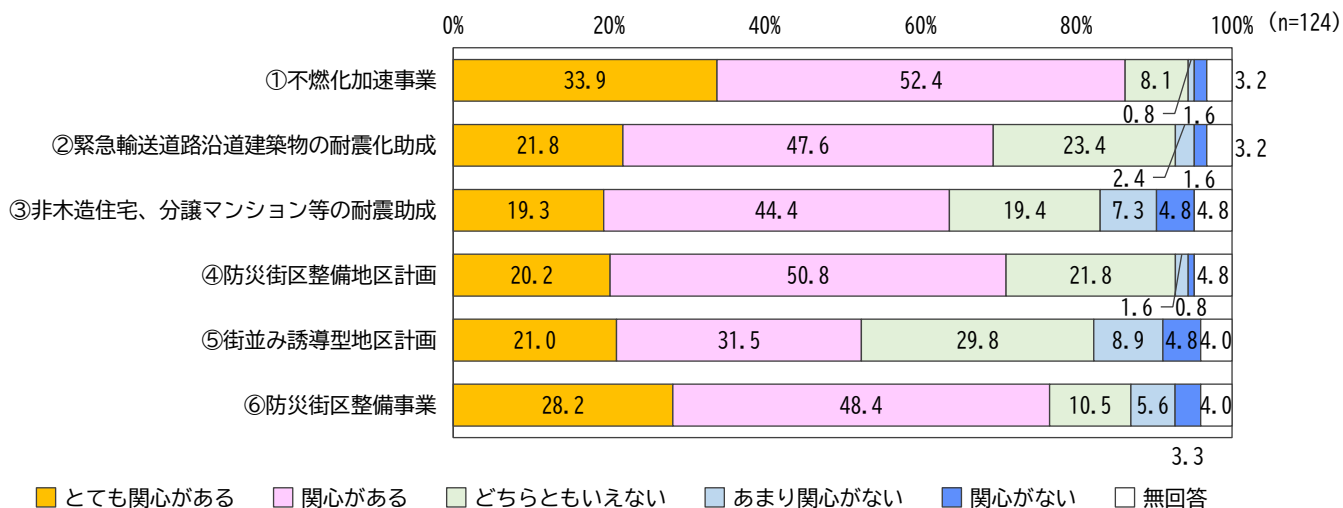
問2-③ 魅力のあるまちづくりの視点で優先すべき取組

魅力のあるまちづくりの視点で優先すべき取組については、「緑あふれる街並みづくり」が47.6%と最も多く、次いで「電線類の地中化」が43.5%、「犯罪のない地域づくり」が36.3%となっています。



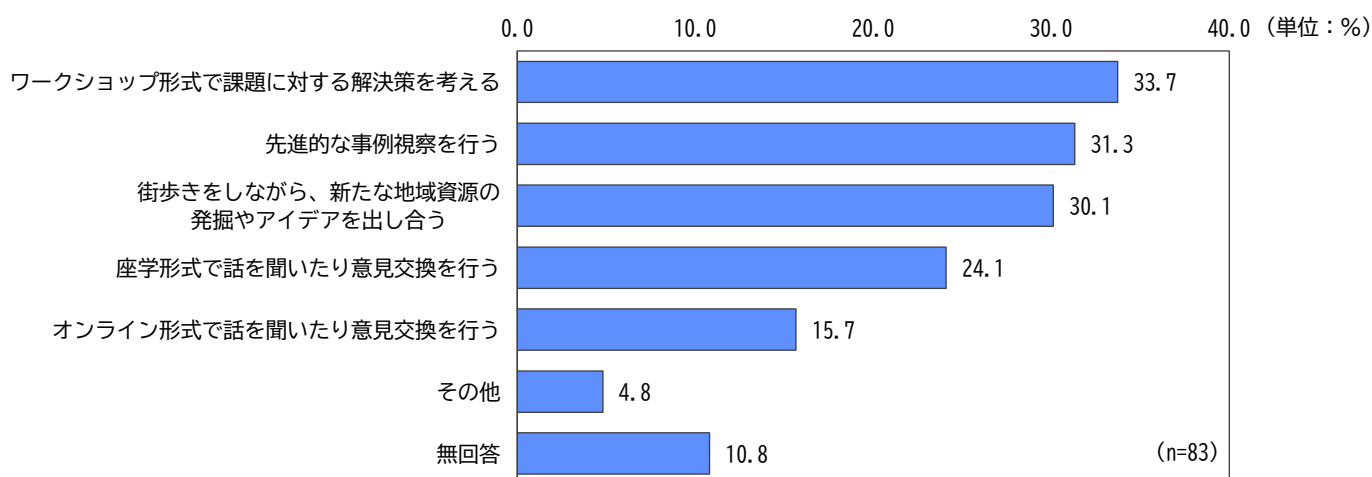
問3 それぞれのまちづくり事業の関心度

それぞれのまちづくり事業の関心度については、いずれの事業も「関心がある」「とても関心がある」、「関心がある」の合計）が5割を超えています。



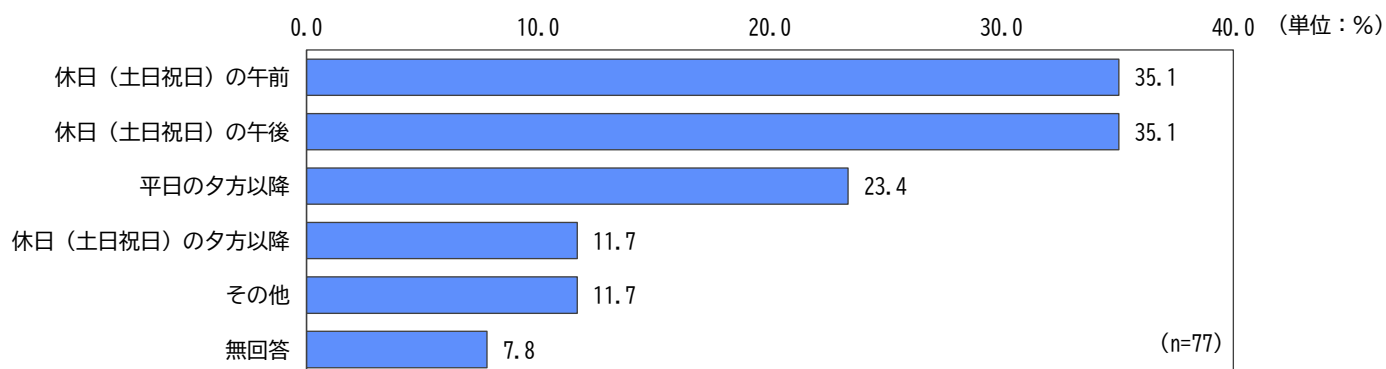
問4－① 参加してもいいと思われる勉強会の内容

参加してもいいと思われる勉強会の内容については、「ワークショップ形式で課題に対する解決策を考える」が33.7%と最も多く、次いで「先進的な事例視察を行う」が31.3%、「街歩きをしながら、新たな地域資源の発掘やアイデアを出し合う」が30.1%となっています。



問4－② 参加しやすい勉強会の日時

参加しやすい勉強会の日時については、「休日（土日祝日）の午前」と「休日（土日祝日）の午後」がともに35.1%と最も多くなっています。



問5 自由意見（一部抜粋）

- ・ 駅前の空き店舗をうまく利用できるようにしてほしい。
- ・ 緑や水の流れが見られるまちづくりを検討してほしい。
- ・ 観光拠点の整備、駅から菖蒲園までの歩きやすい、歩きたくなる環境整備、地区内での行事イベントが必要。
- ・ 水路が汚く不衛生なので改善してほしい。
- ・ 生活道路の道幅を是非広げてもらいたい。
- ・ 駅周辺の店の充実（ただしゆとりのある空間）商店街の充実、カフェや雑貨店など歩きたくなるような通りが必要。